

市報

とす

No.641

平成元年

7.1

主な内容

- ママさんレポーター「ふるさと創生事業」……………2～4
- 消えゆく民具・農耕用具編……………5
- 財政状況を公表……………6～8
- シンポジウム「ほたる飛びかう街づくり」……………9



**「総員10名、欠員2名！」
元気よく点呼練習**

鳥取市に少年少女を派遣する「しゃかりきトレイン」の全体研修会が6月11日に鳥栖北公民館で開かれ、応募した163人が10人ずつの班に分かれて自己紹介などを行いました。点呼練習では、全員の前で班ごとに「1、2、3…」と大きな声で総員数を確認。団体行動の厳しさも学んだようです。



レポーター・吉田正子さん

ママさんレポーター

ふるさと創生事業

国が全国の自治体に一律に1億円を交付して地域づくりを行う「ふるさと創生事業」。

市では、国からの1億円に5,000万円をプラスして、泉源開発、旧国鉄ヤード跡地でのイベントなどを行うことが決まりました。

今回は、これらの事業について吉田正子さん（63歳、原古賀町）にレポートしていただきました。お答えするのは福永静雄・商工課参事です。

ふるさと創生に 1億5,000万円

—— 最近「ふるさと創生」という言葉をよく耳にしますね。鳥栖市でも、国からの1億円に5,000万円を上乗せして事業をされるということを知りましたが、この「ふるさと創生事業」というのはどんなものなのでしょうか。

福永 これは、地方が知恵を出し中央が支援するという発想に基づき「自ら考え自ら行う地域づくり」事業を推進していくもので、地域の工夫でむらおこしをとの期待が込められています。小さな町にも大きな都市にも、国が全国の市町村に一律に1億円を交付して、市町村の知恵比べが行われているわけです。

—— それでは、鳥栖市の「ふるさと創生事業」は、一体どういうことをされるのでしょうか。

福永 この事業には3本の柱を立て、第1は「むらおこし」としての泉源開発事業に9,000万円、第2は交通の要衝という「地域の特性を生かしたイメージづくり」としてのイベント開催に2,000万円の補助、第3は「個性的なふるさとづくり」のための地域づくり人づくり事業に

4,000万円となっています。

3番目の事業の内容は、沼川の管理道路に延長3kmにわたるサイクリング・ジョギングコースの新設、小・中学校の図書購入、民話劇、螢の里づくり、観光ビデオ作製、福祉まつりの開催などがあります。

なぜ 泉源開発か

—— 「自ら考え自ら行う」と言われましたが、これらの事業はどのような経過で決まったのでしょうか。

福永 35名からなる「ふるさと創生懇談会」を設けて市民各層のご意見を広くお聴きし、さらに総合計画審議会委員のご意見、市民意識調査の結果を考慮に入れながら決定したものです。これらの事業を行うに当たっては、事業にかかわる市民のみならず或いは団体と十分協議を重ねながら進めていく必要があります。

—— 予算的に見ると、泉源開発事業が9,000万円が一番大きいですね。

福永 泉源開発については、今年2月から3月にかけて現地調査を行い、温泉は有望との結果が出ましたので、用地費を含めた9,000万円の予算で試掘から本掘まで行うことにし



福永静雄・商工課参事

ています。

—— どうして鳥栖市に温泉を掘ろうということになったのでしょうか。そのきっかけは…。

福永 実は久留米市で温泉が出たんですが、そこは昔から「湯の坂」という地名で呼ばれ、近くに薬師堂が祭ってありました。しかも冬でも決して氷の張らない個所がありまして、ひょっとしたら…と掘ったところ、48度の温泉が出たんですね。

そこで、鳥栖にもそういうところがあるという話になったわけですが、鳥栖にも昔から「湯の谷」と呼ばれるところがあって、近くの荒谷というところにやはり薬師堂があります。しかも、冬どんなに雪が降っても雪が溶けて積もらないということでは

たので、温泉の徴候ではないかという
うことになったわけです。

ところで温泉というのは、花崗岩^{かんこう}の割れ目（断層）から地下の熱源活動によって生じた高温ガスが出てきて、それに地下水が流れ込み、温度の高いお湯が出るんです。西部工業団地を造成するときに行った地下水調査でも、温泉の徴候がありましたので、それではこの際、温泉調査をやってみようということになったわけです。

約42度の ラドン温泉

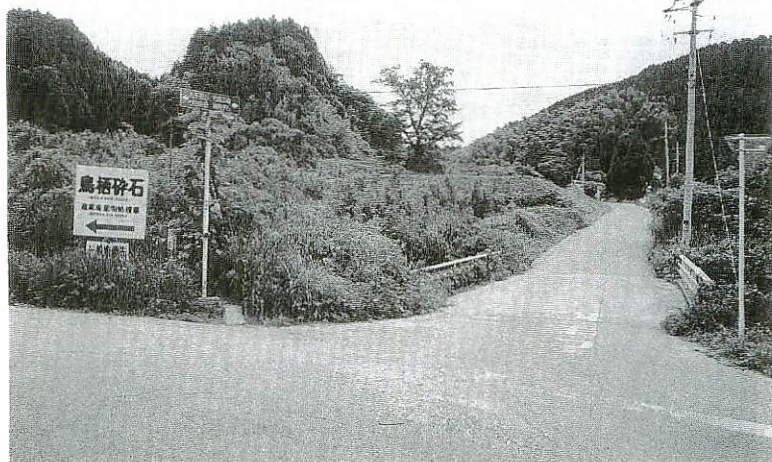
—— その「湯の谷、というところを掘るんですか。

福永 今回、試掘をする場所はこの「湯の谷」とは3^{キロ}ほど離れていますが、断層などの関係で、九千部山の登山道と河内ダムから来る道が交わる北側付近で試掘を行います。ここは地下水が豊富で、断層が重なり合っています。7月から9月にかけて、300^{メートル}ほど試掘したところで地下に探知機を入れ、さらに調査します。間違いなく温泉が出るという結果が出た段階で本掘にかかります。

—— 温泉は確実に出るんでしょうか。

福永 最近の調査は技術も機器も大変優れていて、ヘリコプターやセスナ機を使った空からの探査もできます。調査してもらった先生や会社からも太鼓判を押してもらっています。

—— 温泉が出たとして、その後



○九千部への登山道と河内ダムから来る道が交った試掘現場付近

の方針や計画は…。

福永 幸い、河内ダムの南岸に地域休養施設がもうすぐ完成しますので、ここに温泉を引くことになるでしょう。

—— 温度は何度ぐらいなんですか。

福永 調査では、二日市温泉と同じ非火山系の温泉ですので、42度ぐらいではないかと思われます。冬の一番寒いときには少し加熱する必要がありますが、あまり高温でも水を加えなければなりませんし、そのまま使えるちょうどいい温度ではないでしょうか。

—— 泉質はどんなものなんですか。

福永 弱アルカリ性の放射性的の温泉で、通称ラドンと言われているものです。神経痛やリュウマチ、腰痛、糖尿病に効果があります。

—— そういう素晴らしい泉質のものが出たら、温泉施設が欲しくなりますね。でも、施設をつくれば維持費がかかりますよね。

福永 温泉には、利用者1人につき150円ぐらいの入湯税がかかります。これが全て市税として入ってきます。休養施設や民間の宿泊施設を誘致して温泉を利用していただくことも考えられます。今、「鳥栖北西部丘陵等観光レクリエーション総合基本計画」というのを策定中なんです。自然を壊さずに、市民のみなさんが楽しんでいただける観光地づくりを目指していきたいです。

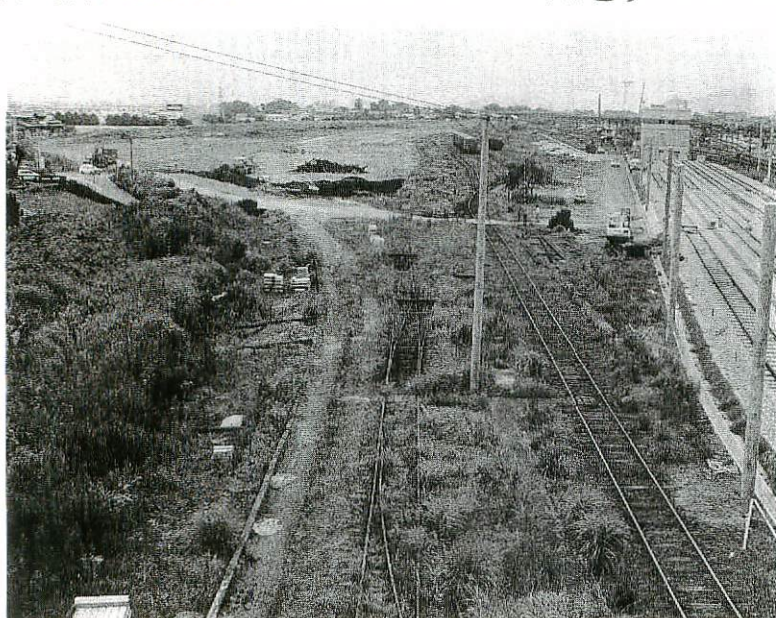
ヤード跡地で 11月にイベント

—— ふるさと創生事業の2番目の柱になっているイベントとはどんなものですか。

福永 これは「トス・ヤード・フェスティバル」という名称で11月3日から3日間、10万平方^{メートル}の旧国鉄



○放射能探査による泉源の調査



◎旧国鉄ヤード跡地を活用して11月にイベントを開催

ヤード跡地を活用して手づくりのイベントを開くもので、主催は観光協会、商工会議所、青年会議所、コンベンションシティ委員会、鳥栖基山農協、商店街連合会、料飲店組合など民間の団体です。

巨大なテントの中に200社近い企業の製品を展示・即売する物産展をはじめ、100張りほどのテントがずらりと並び採れたての野菜などを販売するフリーマーケット、国産の新車・中古車を展示する車ばさるか市、子供たちを中心に家族で楽しめる遊園地的なプレイランド、小動物とのふれあい広場、伝統工芸の実演、ペットコンテスト、クイズゲーム、大

道芸大会、アマチュアバンドの演奏、飲食コーナーなどが設けられます。

—— それは楽しみです。でも、会場へはどこから入るんですか。

福永 会場に出入りするために、商工団地側に幅8¹/₂の道路を、また、JR利用のお客さんが直接入場できるような通路も設ける予定です。

自然を生かした ふるさとづくりを

—— ところで、鳥栖市が観光都市として発展する可能性はあるんでしょうか。

福永 今後、縦貫・横断の両高速道が全面開通すれば、九州全土どこ

へでも2時間たらずで行けるようになります。だからといって、長崎や大分、熊本などにある既存の大レジャー施設と観光開発で競争しても勝ち目はありません。九州を訪れた人たちがどこへ行こうかと迷うとき、ひとまず鳥栖に降りてみようかということは考えられます。

それよりも、鳥栖に住む人たちに安らぎを与える場所が必要ではないかと思います。河内ダム、四阿屋、御手洗の滝など市内に点在する観光資源を結びつけ、自然の中でみんなが楽しめる場所をつくりたいですね。

最近、筑紫一族ゆかりの葛籠城^{つづろ}の跡が、荒らされずにそのままの状態で見えましたが、そういった史跡なども生かしながら、泉源開発と合わせて取り組みたいと考えています。

—— なるほど、自然を生かした観光を目指しておられることを聞いて、大変嬉しいですね。

福永 ふるさと再発見とでもいいですか、例えば四国八十八か所めぐりと同じように、鳥栖にも昔から88か所の礼所があるそうですが、知られていませんね。そうしたものを、みなさんと一諸になって調べ合ったりすることも「ふるさと創生」のひとつじゃないかと思います。

—— 自分たちの周辺を見直してみるのが大切ですね。

葉

■第12回親子バトミントン大会

(6月11日、市民体育館。参加16チーム。1位ののみ)

【小学生と父】大塚明子(旭小6年) 隆男【小学生と母】樋口貴子(旭小6年) 恵子【中学男子と親】石井俊介(鳥栖中1年) 安子【中学女子と親】今泉紀子(鳥栖中1年) つた代

第36回市軟式野球夏季大会 代表者会議(C級のみ)

七月十二日(火)午後五時半、市役所二階第五会議室。大会参加料五千元を持参下さい。

第20回市少年野球(中学生)大会 代表者会議

七月十八日(火)午後五時半、市役所二階第五会議室。大会参加申込書を持参下さい。

鳥栖地区グラウンドゴルフ教室

七月十七日(月)から二十一日(金)までの五日間、午後五時〜七時、鳥栖小学校グラウンド。対象は鳥栖地区の居住者。受講料無料。申し込みは鳥栖公民館(☎1686)へ。

第9回バドミントン複選手権大会

七月九日(日)午前九時半、市民体育館。種目はクラス別の個人戦。参加資格は市内居住の中学生以上の協会登録者で、参加料一組千円。申し込みは当日九時までに会場です。

「会員一人ひとりにまで話し込みを広げ、みんなの力で十月の総会までにはぜひ高学年部をつくりたい」と、設立準備や例会打ち合わせに忙しい毎日です。

「会員のみなさんが頼りです」もつかの課題は、小学校高学年から大人までを対象にした高学年部をつくること。自主的な活動はやっているものの、会員数の不足から予算的に正式な例会活動ができないのが悩みのタネ。

前任の広畑真弓さんの転勤で、急きょ五代目の鳥栖子ども劇場運営委員長に抜てきされた永渕恵美子さん（四十歳、山浦町）。



鳥栖子ども劇場
5代目の委員長
永渕恵美子さん

■消えゆく民具 — 農耕用具編 —

① はじめに

私たちの生活様式は昭和30年から50年代にかけての高度経済成長政策によって、大きく様変わりしました。現在もまた、さまざまな新しい物が、が氾濫しているという意味で、大きな変化の時代です。そのため、私たちの先人が長い歴史をつらぬいて培い伝えてきた生産用具や技術、伝統



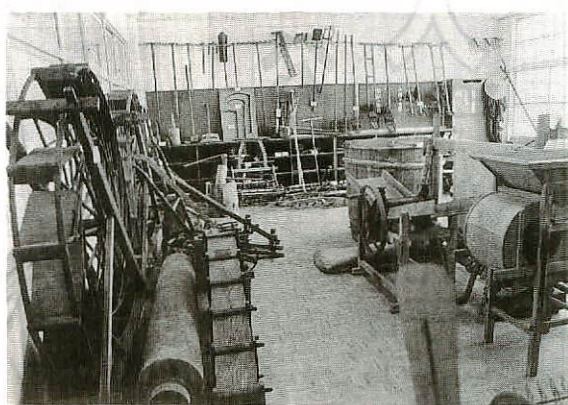
扱き箸(2本の竹)を使った脱穀風景

的な生活様式などが、こしばらうの間に急速に消え去るか、或いは変容を遂げようとしています。

人間は「火と道具」を使うことによって人になり、その時々必要によってこの2つを

創意工夫し、創造してきました。その歴史をさかのぼり、その軌跡を知ることが、次の時代の新しい創意工夫と創造を生む源泉にもなると思います。

昭和54年から始めたこの文化財シリーズでは、これまで地名、遺跡、山城、街道など土地に結びついた遺構を中心に連載してきました。これ



◎文化財収蔵庫には民俗・埋蔵文化財2,000点を展示

までの内容には新資料により追加、修正すべき点もありますが、ここで少し方向を変えて、私たちの先祖が残してきた遺物——農耕用具や生活用具、鳥栖地域に伝統的に形成されてきた配置売葉に関する用具類についてみていきたいと思います。

次回から毎月1日号に連載します。ご期待下さい。

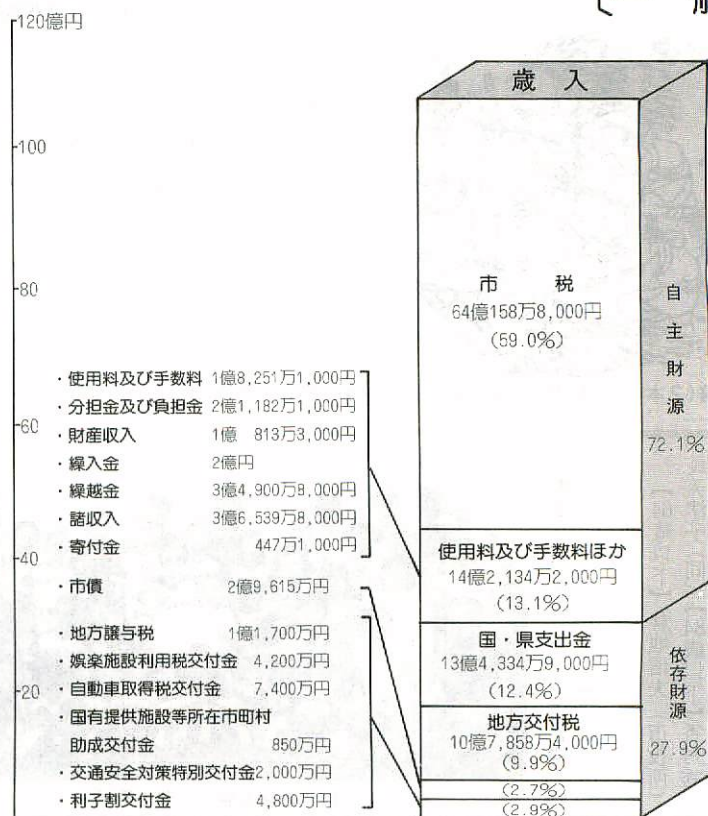
■第9回バドミントン混合複大会
(6月11日、市民体育館。参加18チーム。1位のみ)
【64歳以下】倉地信夫(市役所)
長美津子(同) 【84歳以下】香月秀治
(同) 宮岡寛代(コスモス) 【85歳以上】森和博(きささぎ) 安納幸子(若



◎初優勝を飾った蔵上町チーム

スポーツ 大会成績

■鳥栖市少年野球連盟第8回教育リーグ中央大会(6月18日、市民球場。7小学校区の代表チームが対戦)
①蔵上町 ②田代外町





○地域休養施設建設事業

歳出予算額	支出済額	執行率
108億5,051万3,000円	96億4,707万2,000円	88.9%
23億8,427万8,000円	20億3,740万3,000円	85.5%
26億6,314万4,000円	24億5,452万1,000円	92.2%
22億4,132万9,000円	19億8,602万円	88.6%

支出予算額	支出額	執行率
6億3,645万5,000円	6億3,187万6,103円	99.3%
3億2,584万6,000円	3億2,109万5,877円	98.5%

会 計

歳 出	
総 務 費 17億2,850万2,000円	15.9%
民 生 費 17億6,241万6,000円	16.2%
衛 生 費 9億1,192万6,000円	8.4%
農林水産業費 6億4,700万6,000円	6.0%
土 木 費 21億2,677万4,000円	19.6%
教 育 費 13億9,748万7,000円	12.9%
公 債 費 9億6,781万1,000円	8.9%
そ の 他 13億 859万1,000円	12.1%

鳥栖市財政状況書に関する条例による昭和63年10月1日から平成元年3月31日までの財政状況（平成元年3月31日現在）をお知らせします。



63年度は、歳入面で市税や地方交付税などの大幅な伸びが期待できず、国・県補助金も前年と同じく削減措置があるなど、財源確保がますます困難な状況にあります。

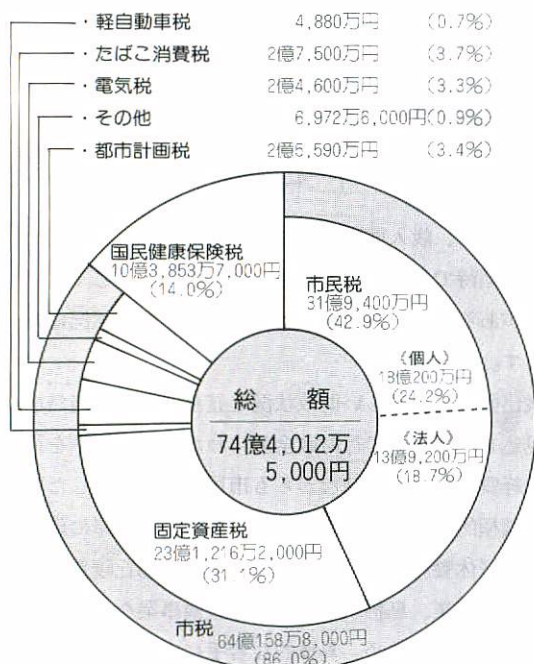
歳出面では、厳しい財政状況と義務的経費の当然増が見込まれるなかで行財政全般にわたって見直しを行い、経費の削減を図りながらも市民生活に直結した事業を積極的に進めました。また、河内ダム南岸に建設中の地域休養施設、公共下水道事業、北部丘陵新都市開発整備事業、鳥栖駅周辺市街地整備事業などの大型プロジェクトを進め、具体的な着手に向けて市債の発行を抑制するとともに基金（都市開発基金、ふるさと基金）を新設しました。

2、主 な 事 業

■代替物件建設事業（九工試ゲストハウス）	5,768万9千円
■総合計画策定事業	1,225万円
■土地改良施設管理設備修繕事業（河内ダム施設整備修繕など）	6,151万5千円
■地域休養施設建設事業	1億9,665万2千円
■水車設置（ユニーク）事業	1,310万7千円
■林道整備事業（一の坂～河内線、頭野～芳谷線、山浦線）	1,765万4千円
■交通安全施設整備事業（轟木～酒井西線、村田～西田線）	1億606万9千円
■地方道特殊改良事業（大刀洗～立石線）	2,826万7千円
■緊急地方道路整備事業（山浦～安良線ほか）	6,101万円
■安良川河川敷休憩所設置工事	600万円
■道路舗装・側溝等工事	3億1,000万円
■準用河川改修工事（向原川、浦田川）	8,702万円
■公園事業（市民公園、中央公園小原池しゅんせつなど）	5,152万6千円
■街路事業（今泉～田代線、鳥栖駅～山道線ほか）	3億6,927万7千円
■定住拠点緊急整備事業	4,500万円
■鳥栖駅周辺土地地区画整理事業	450万円
■田代小学校大規模改造事業	4,636万3千円
■基里中学校建設事業	2億2,163万9千円
■儀徳町運動広場夜間照明新設工事	2,350万円
■庁舎営繕等工事	3,280万円
■消防施設整備事業（消防庁舎用地購入、格納庫建設など）	1億9,997万8千円
■焼却炉定期点検修繕工事等	8,840万円
■商工業振興事業（百落用地購入）	1億2,063万4千円
■観光事業（泉源開発調査）	330万円

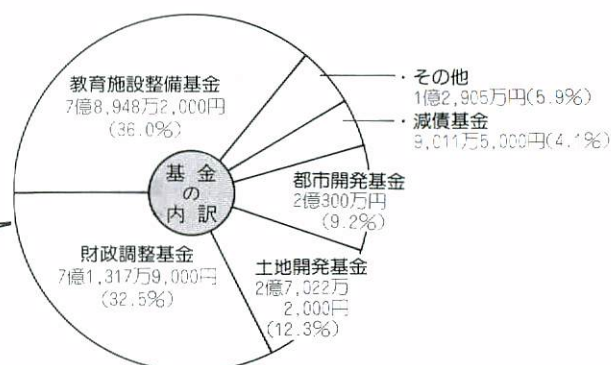
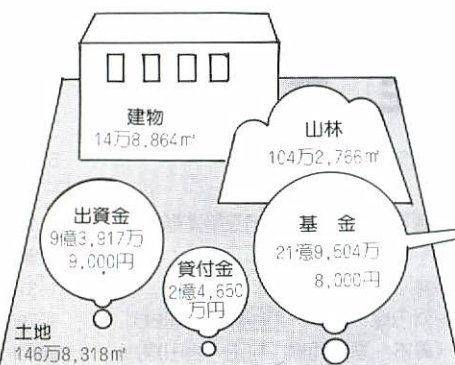
3、市民負担の状況

※ 1 世帯当たり、1 人当たりの負担状況は、
市民税、固定資産税、都市計画税の法人分
を除きます。



人口 55,730人 世帯数 16,233世帯 国保被保険者数 15,628人 国保世帯数 6,721世帯		1 世帯当たり	1 人当たり
市	税	22万1,798円	6万4,605円
市	民 税	11万1,008円	3万2,334円
固 定 資 産 税		6万6,137円	1万9,264円
軽 自 動 車 税		3,006円	876円
た ば こ 消 費 税		1万6,941円	4,935円
電 気 税		1万5,154円	4,414円
ガ ス 税		49円	14円
都 市 計 画 税		9,503円	2,768円
国民健康保険税		15万4,521円	6万6,454円

4、市有財産の状況

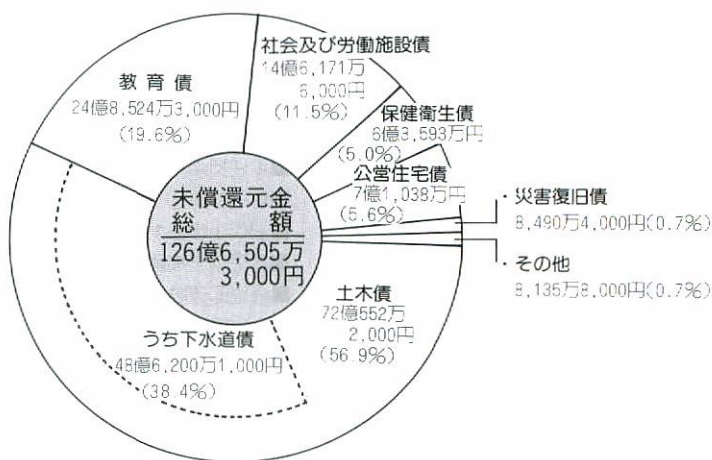


5、一時借入金の現在高

一 般 会 計	0円
国民健康保険特別会計	1億円
老人保健特別会計	0円
下水道特別会計	15億円



6、市債の現在高



61年度の市民所得

1人当たり205万4,894円

前年度比3.5%増

昭和61年度鳥栖市の市民所得の概要がこのほどまとまりました。

所得水準を示す1人当たりの市民所得(分配)は205万4,894円で、これは県民所得の174万4,169円を17.8%上回り、県内49市町村の中で第5位、県内7市では佐賀市に次いで第2位にランクされます。

市内純生産は、1,476億242万円で、前年度に比べ10.5%の増となっています。これは、運輸・通信業が国鉄施設の廃止や規模縮小の影響により対前年度比10.0%減、水産業が内水面養殖業の停滞で22.6%減、鉱業が15.4%減と落ち込んだものの、農業が米の豊作などにより11.8%増、林業が素材生産量の増加で70.8%増となったのをはじめ、製造業が21.1%増、建設業が19.3%増、卸売・小売業が4.0%増、電気・ガス・水道業が12.6%増と、前年度を大幅に上回る伸びを示したことによります。

一方、同年度中に生産活動に携わった市民に分配された市民所得の総額は1,153億3,505万円で、対前年度比4.2%の増。この市民所得の7割近くを占める雇用者所得は、厳しい雇用情勢を反映して2.8%の増と前年

度の伸び(3.3%)を下回り、財産所得も、公定歩合の引き下げと預貯金金利の低下による影響で3.8%の減。しかし、企業所得は民間法人企業的好調な伸びにより13.3%増となり、全体的には順調に推移しています。

この市民所得分配額を市人口で割った1人当たりの市民所得(分配)は205万4,894円で、前年度より7万199円(3.5%)の増となっています。

中央婦人学級 受講者を募集

中央公民館では、平成元年度の中央婦人学級を次の通り開きます。

市内居住のご婦人であればどんなでも受講できます。内容は一般教養、ワープロなど。受講料無料。

とき／8月上旬から毎週木曜日の予定　ところ／中央公民館　定員／30人　申し込み／7月10日までにはがきで鳥栖市中央公民館(〒841鳥栖市宿町807-17 ☎3646)へく※定員になりしだい締め切ります

7月は「青少年を非行からまもる全国強調月間」

鳥栖ほたるの会 発会記念シンポジウム “ほたる飛びかう 入場無料 街づくり”

記念講演／県営愛好会会長 木原 武雄氏
パネラー／小城ホテル保存会事務局長 江里口 厳氏

と き●7月8日(土)午後6時半
ところ●鳥栖商工会館3階大ホール
対象者●ほたるに関心のある方(小中学生は保護者同伴のこと)
主 催●市観光協会(☎338415)
※当日会場で「やさしいホテルの本」(500円)が発売されます。



商工業者のための
一日国民金融公庫

七月五日(水)午前十時～午後二時、鳥栖商工会議所。融資額三千五百万円以内で利率五・七％。融資期間は運転資金五年、設備資金十年。申し込みは同会議所(☎33121)へ。

企業管理・監督者講座

七月七日(金)・十二日(水)の二日間、午後一時半～四時半、鳥栖商工会館。「販売担当管理者の売上増進対策へのチェック」。受講無料。申し込みは鳥栖商工会議所(☎33121)へ。

簡易保険・郵便年金資金
写真コンクール

学校、市民公園、市営住宅など郵便局の簡易保険・郵便年金資金でつくられた施設をテーマとした写真を募集。部門は一般、中学生、小学生の三部門で、応募締め切りは七月三十一日。詳しくはお近くの郵便局へ。

史跡めぐりハイキング
「柚比・今町コース」

七月十六日(日)午前九時、田代公民館前集合。柚比遺跡群を訪ねます。詳しくは市教委社会体育課(☎522)へ。

おわび 前号二ページ「ミニ消防車」の記事中、「放水銃」は「放水銃」、「放水」は「放水」の誤りでした。おわびして訂正します。

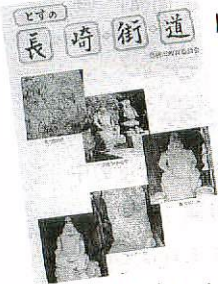
無料でさしあげます

ガイドブック

「とすの長崎街道」

田代宿、轟木宿を中心に、街道沿いの史跡45カ所を紹介。新聞紙大を折り込んだコンパクト

なB6判の大きさです。ご希望の方には市教委社会教育課をはじめ各地区の公民館や老人福祉センター、文化財収蔵庫、市民文化会館、市立図書館、勤労青少年ホーム、商工課の窓口で配布しますのでおいで下さい。



市報とす

No641

国保・被保険者証の切り替えは？

国民健康保険の被保険者証は、4月から新しいものに替わっています。

3月に新しい被保険者証との切り替えを行いました。まだ切り替えをされていない方は、旧被保険者証（昭和63年度発行のもの）と印鑑を持って、保険課健康保険係（☎3582）で手続きして下さい。

有害鳥獣^{土鳩}を駆除7月29日まで

土鳩などの有害鳥獣による農作物への被害を防ぐため、市農林課では猟友会鳥栖支部に依頼して7月1日（土）から同29日（土）までの日の出から日没まで、市内全域で駆除を行います。

危険防止にご協力をお願いします。特に、鳩を飼育されている方などは十分ご注意ください。

第2回全国健康福祉祭
「おおいた大会」
選手選考会

ペタンク大会

と き●7月15日（土）（雨天時は18日）

ところ●市民公園多目的広場

資格●60歳以上

申し込み●7月12日までに市ベタンク協会または市グラウンド・ゴルフ協会の各事務局（市教委社会体育課内☎3522）へ

◇ペタンク大会 午前8時半開会。

1チームは監督1人、選手3人の4人以内で編成（選手のうち1人は女子、監督は選手を兼任できる）、参加料は1チームにつき500円。

◇グラウンド・ゴルフ大会 午後4時半開会。競技は個人対抗戦。参加料は1人につき100円。

婦人の健康診査

7月25日（土）	7月26日（土）	7月27日（土）	7月31日（土）	8月1日（土）	8月2日（土）
儀徳町公民館	鳥栖公民館	鳥栖北公民館	山浦町公民館	田代公民館	基里公民館

13:30～14:30

●対象 18歳から39歳までの家庭の主婦や自営業の婦人。
●診査内容と受診料
●婦人健康診査（問診、身体測定、血液測定、検尿、血液検査）
●子宮ガン検診（30歳以上）
●注意 当日は「婦人の健康手帳」、受診料を忘れずに持参下さい。
●おわび 前号でお知らせしていた胃ガン検診と結核検診は、婦人の健康診査の中では行いません。おわびして訂正します。

保健カレンダー
受診の申し込み・問い合わせは保健課（☎3559）へ

手話奉仕員養成講習会

七月二十七日（木）から十月二十二日（月）までの毎週月・木曜日（二十五回）午後六時半～八時半、社会福祉会館。障害者に接する場合の心構え、手話の理論、実技など。申し込みは福祉事務所社会係（☎3552）へ。

赤十字水上安全法講習会

七月十四日（金）午後一時半～五時、市民体育館・市民プール。人工呼吸やおぼれている人の救助の仕方など。申し込みは七月十一日までに社会福祉協議会（☎3555）へ。当日は筆記用具、水着、タオルを持参下さい。

鳥栖市民大学講演会

「太宰府と鴻臚館のぞき」

七月五日（水）午後七時、中央公民館。講師は九州歴史資料館館長で九州大学名誉教授の田村圓澄氏。入場無料。詳しくは鳥栖市民大学事務局（鳥栖新聞内☎7470）へ。

学童泳力テスト会

八月十四日（月）午前九時、市民プール。小学生が対象。種目は個人が五十メートルと百メートルの自由形・平泳ぎ・バタフライ・背泳ぎ・二百メートルメドレー、団体が各学校男女別二百メートルリレーと同メドレーリレー。申し込みは一人一種目（リレー除く）で、七月二十日までに市体協（☎3522）へ。

7月の納税

固定資産税
（2期分）
国民健康保険税
（2期分）
納期限●7月31日



人口



平成元年5月31日現在
総数 55,640（-16）
男 26,477（-29）
女 29,163（+13）
世帯 16,322（+1）
（ ）内は前月との比較

水道の修繕

管工事協同組合
蔵上町☎35038

午後5時以降と日曜・祝日は次の当番店へ。
7月11日～20日／中央設備（大正町☎4410）21日～31日／高倉工務店（原古賀町☎4358）